



2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岡村 信悟
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 経営企画本部本部長 (氏名) 渡辺 圭吾 (TEL) 03(6758)7200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	33,982	△6.0	1,917	10.5	4,489	△24.8	2,846	△37.6	3,052	△34.2	5,154	△61.8
2024年3月期第1四半期	36,150	4.0	1,735	△56.2	5,971	△44.2	4,559	△39.2	4,639	△35.1	13,509	357.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	27.40	27.38
2024年3月期第1四半期	41.66	41.62

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分合計	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	333,435	222,912	212,133	63.6
2024年3月期	335,708	220,025	209,204	62.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2025年3月期の配当予想は未定です。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2025年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、2024年3月期と比して増収、また、一時損益を除き、同営業増益を目指してまいります。各事業の動向等の主に想定される業績変動要因につきましては、2024年5月8日に公表しました「2024年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」の「1. 経営成績・財政状態の概況（1）当期の経営成績の概況（次期の見通し）」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	122,145,545株	2024年3月期	122,145,545株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	10,791,902株	2024年3月期	10,794,938株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	111,352,124株	2024年3月期1Q	111,341,939株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式 (2025年3月期1Q : 164,771株、2024年3月期 : 167,812株) を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 配当予想金額に関して

2025年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2024年8月8日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当日の当期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
【第1四半期連結累計期間】	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
【第1四半期連結累計期間】	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	11
① セグメント情報	11
② 1株当たり利益	14
③ 重要な後発事象	14

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当社グループは、エンターテインメント領域や社会課題領域で各種事業を展開しておりますが、企業価値の向上に向け、それぞれの特徴を活かした収益基盤の形成や、構造的・継続的に成長する事業群の形成、事業間のシナジーの形成等に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日まで)において、売上収益は、33,982百万円(前年同期比6.0%減)となりました。主な変動要因は、後述のセグメント別の業績に詳述のとおりとなっております。

売上原価については、17,783百万円(前年同期比6.5%減)となりました。ライブストリーミング事業やゲーム事業の動向や、業績推移に応じて変動する支払手数料が減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、14,236百万円(前年同期比7.4%減)となりました。主にゲーム事業やライブストリーミング事業の業績推移に応じ、支払手数料が減少しました。

金融収益は2,808百万円(前年同期比3.6%減)、金融費用は64百万円(前年同期比51.4%増)となりました。

持分法による投資損失は、173百万円(前年同期は1,366百万円の利益)となりました。前年同期には、主な持分法適用関連会社であるG0株式会社における第三者割当増資による一時的な利益の影響がありました。

以上の結果、当社グループの売上収益は33,982百万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は1,917百万円(前年同期比10.5%増)、税引前四半期利益は4,489百万円(前年同期比24.8%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,052百万円(前年同期比34.2%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は11,215百万円(前年同期比10.0%減)、セグメント利益は866百万円(同307.4%増)となりました。

既存のタイトルを中心とした事業運営となり、ユーザ消費額は前年同期比で減少しましたが、前連結会計年度から取り組んでいる中国拠点の大幅縮小等によって費用が減少し、前年同期比で増益となりました。

②ライブストリーミング事業

ライブストリーミング事業の売上収益は10,197百万円(前年同期比5.7%減)、セグメント損失は576百万円(前年同期は182百万円の損失)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、国内の「Pococha(ポコチャ)」ではTVCM等のマーケティングを実施しました。「IRIAM(イリアム)」は引き続き成長しました。

③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は10,026百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は3,335百万円(同2.6%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、プロ野球における主催試合の数は前年同期比で少なかったものの、観客動員数等は好調に推移しました。

④ヘルスケア・メディカル事業

ヘルスケア・メディカル事業の売上収益は1,841百万円(前年同期比6.1%減)、セグメント損失は1,376百万円(前年同期は1,172百万円の損失)となりました。

ヘルスケア領域は、主に、データヘルス計画の策定年度には該当しないことから、前年同期比で減収となりました。データ利活用に関しては、下期の需要期に向け、取引社数等の先行指標は順調に進捗しております。メディカル領域では、医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join(ジョイン)」の導入施設数等は引き続き積みあがっており、また、ポータブル医療機器とJoinを組み合わせたJoin Mobile Careを活用したプロジェクト等に関しても今期の貢献に向け、議論を進めています。

⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は820百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント損失は272百万円（前年同期は336百万円の損失）となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みやEC事業におけるサービス等を含んでおります。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,273百万円減少し、333,435百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ10,760百万円減少し、103,300百万円となりました。この主な要因は、売掛金及びその他の短期債権が10,458百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ8,487百万円増加し、230,135百万円となりました。この主な要因は、その他の長期金融資産が4,819百万円増加、使用権資産が2,508百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,160百万円減少し、110,523百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ8,568百万円減少し、40,645百万円となりました。この主な要因は、買掛金及びその他の短期債務が4,490百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,408百万円増加し、69,878百万円となりました。この主な要因は、リース負債が2,632百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ2,886百万円増加し、222,912百万円となりました。この主な要因は、親会社の所有者に帰属する持分合計が2,929百万円増加したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第1四半期連結会計期間末において流動比率254.1%、親会社所有者帰属持分比率63.6%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し、71,330百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7,093百万円（前年同期は3,970百万円の支出）となりました。主な収入要因は売掛金及びその他の短期債権の増減額10,512百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,380百万円（前年同期は2,250百万円の支出）となりました。主な支出要因は無形資産の取得1,323百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は5,180百万円（前年同期は4,348百万円の支出）となりました。主な支出要因は短期借入金の純増減額2,563百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、2024年3月期と比して増収、また、一時損益を除き、同営業増益を目指してまいります。

各事業の動向等の主に想定される業績変動要因につきましては、2024年5月8日に公表しました「2024年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の「1. 経営成績・財政状態の概況 (1) 当期の経営成績の概況(次期の見通し)」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	71,396	71,330
売掛金及びその他の短期債権	30,071	19,612
未収法人所得税	5,845	5,978
その他の短期金融資産	408	291
その他の流動資産	6,340	6,089
流動資産合計	114,060	103,300
非流動資産		
有形固定資産	5,893	6,620
使用権資産	16,021	18,529
のれん	33,562	33,562
無形資産	17,803	18,422
持分法で会計処理している投資	56,512	56,366
その他の長期金融資産	91,125	95,944
繰延税金資産	679	654
その他の非流動資産	52	36
非流動資産合計	221,648	230,135
資産合計	335,708	333,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	21,337	16,847
借入金	8,613	6,203
リース負債	1,606	1,283
未払法人所得税	601	1,822
引当金	2,741	2,100
その他の短期金融負債	1,093	1,311
その他の流動負債	13,221	11,079
流動負債合計	49,213	40,645
非流動負債		
借入金	29,151	28,837
リース負債	5,135	7,767
引当金	254	254
その他の長期金融負債	638	537
繰延税金負債	31,113	32,300
その他の非流動負債	180	183
非流動負債合計	66,470	69,878
負債合計	115,683	110,523
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	15,750	15,752
利益剰余金	162,578	163,398
自己株式	△20,757	△20,747
その他の資本の構成要素	41,237	43,333
親会社の所有者に帰属する持分合計	209,204	212,133
非支配持分	10,821	10,779
資本合計	220,025	222,912
負債及び資本合計	335,708	333,435

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	36,150	33,982
売上原価	△19,022	△17,783
売上総利益	17,128	16,200
販売費及び一般管理費	△15,370	△14,236
その他の収益	156	199
その他の費用	△179	△245
営業利益	1,735	1,917
金融収益	2,912	2,808
金融費用	△42	△64
持分法による投資損益 (△は損失)	1,366	△173
税引前四半期利益	5,971	4,489
法人所得税費用	△1,412	△1,642
四半期利益	4,559	2,846
以下に帰属する四半期利益 (損失)		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	4,639	3,052
四半期損失：非支配持分に帰属	△79	△205
合計	4,559	2,846
(単位：円)		
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	41.66	27.40
希薄化後1株当たり四半期利益	41.62	27.38

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	4,559	2,846
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	8,670	2,666
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	8,670	2,666
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	142	△362
キャッシュ・フロー・ヘッジ	136	-
その他	2	4
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	280	△358
その他の包括利益(税引後)	8,950	2,308
四半期包括利益合計	13,509	5,154
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	13,559	5,144
四半期包括利益：非支配持分に帰属	△50	11
合計	13,509	5,154

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年4月1日残高	10,397	15,591	193,586	△20,794	22,846	221,626	12,367	233,993
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	4,639	-	-	4,639	△79	4,559
その他の包括利益	-	-	-	-	8,920	8,920	30	8,950
四半期包括利益合計	-	-	4,639	-	8,920	13,559	△50	13,509
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△2,227	-	-	△2,227	△124	△2,351
自己株式取引による増加(減少)	-	△16	-	16	-	-	-	-
株式報酬取引による増加(減少)	-	△20	-	-	26	6	-	6
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	7	△7	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	△0	-	-	-	△0	7	7
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	1	△5	-	5	1	96	97
2023年6月30日残高	10,397	15,563	195,986	△20,778	31,797	232,964	12,296	245,260

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年4月1日残高	10,397	15,750	162,578	△20,757	41,237	209,204	10,821	220,025
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	3,052	-	-	3,052	△205	2,846
その他の包括利益	-	-	-	-	2,092	2,092	216	2,308
四半期包括利益合計	-	-	3,052	-	2,092	5,144	11	5,154
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△2,227	-	-	△2,227	△20	△2,247
自己株式取引による増加(減少)	-	△10	-	10	-	△0	-	△0
株式報酬取引による増加(減少)	-	6	-	-	5	11	-	11
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	5	△5	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	-	-	-	-	-	△19	△19
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	1	-	-	-	1	△14	△12
2024年6月30日残高	10,397	15,752	163,398	△20,747	43,333	212,133	10,779	222,912

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,971	4,489
減価償却費及び償却費	1,399	1,167
有価証券損益(△は益)	△1,123	△779
受取利息及び受取配当金	△1,124	△1,366
支払利息	42	64
持分法による投資損益(△は益)	△1,366	173
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	8,275	10,512
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△3,452	△5,331
前受金の増減額(△は減少)	△2,807	△2,670
その他	526	△36
小計	6,341	6,223
利息及び配当金の受取額	1,124	1,191
利息支払額	△35	△36
法人所得税支払額	△11,434	△349
法人所得税還付額	34	65
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△3,970	7,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関連会社株式の取得のための支出	△538	△1
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	6	-
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△333	△234
有形固定資産の取得	△155	△828
無形資産の取得	△1,749	△1,323
資産除去債務の履行による支出	△68	△2
敷金及び保証金の回収による収入	120	8
その他	468	1
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△2,250	△2,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,575	△2,563
長期借入金の返済による支出	△39	-
リース負債の返済	△443	△427
配当金支払額	△2,183	△2,182
非支配持分からの払込による収入	-	3
非支配持分への配当金の支払額	△124	△20
自己株式の処分による収入	16	10
自己株式の取得のための支出	-	△0
その他	△0	-
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△4,348	△5,180
現金及び現金同等物の減少額	△10,568	△466
現金及び現金同等物の期首残高	97,732	71,396
現金及び現金同等物の為替変動による影響	926	400
現金及び現金同等物の四半期末残高	88,090	71,330

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

① セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「ライブストリーミング事業」、「スポーツ事業」、「ヘルスケア・メディカル事業」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」、「SC相模原」等
ヘルスケア・メディカル事業	ヘルスケア・メディカル関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ヘルスビッグデータ関連サービスの提供、「Join（ジョイン）」をはじめとする医療DX関連サービス等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： EC事業、その他の新規事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間

(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	12,438	10,809	10,235	1,960	709	—	36,150
セグメント間の売上収益	24	—	1	—	0	△26	—
計	12,462	10,809	10,235	1,960	709	△26	36,150
セグメント利益(損失) (注) 1	213	△182	3,424	△1,172	△336	△189	1,758
その他の収益・費用(純額)							△23
営業利益							1,735
金融収益・費用(純額)							2,870
持分法による投資損益(△は損失)							1,366
税引前四半期利益							5,971

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間

(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	11,183	10,197	9,948	1,836	818	—	33,982
セグメント間の売上収益	32	—	77	5	2	△116	—
計	11,215	10,197	10,026	1,841	820	△116	33,982
セグメント利益(損失) (注) 1	866	△576	3,335	△1,376	△272	△13	1,963
その他の収益・費用(純額)							△47
営業利益							1,917
金融収益・費用(純額)							2,744
持分法による投資損益(△は損失)							△173
税引前四半期利益							4,489

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	4,639	3,052
四半期利益調整額		
：子会社の発行する潜在株式に係る調整額	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	4,639	3,052
基本的期中平均普通株式数 (株)	111,341,939	111,352,124
希薄化性潜在的普通株式の影響		
：ストック・オプション等	115,930	108,528
希薄化後の期中平均普通株式数	111,457,869	111,460,652
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	41.66	27.40
希薄化後1株当たり四半期利益	41.62	27.38
逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり 四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	連結子会社の発行するストック・オプション(ストック・オプションの目的となる子会社の普通株式の数168,900株)	—

③ 重要な後発事象

該当事項はありません。